

## 沼ノ平火口

沼ノ平火口は、安達太良山山頂の北西にある火山の火口です。この火口は直径約 1.2 キロメートル、深さは約 150 メートルです。火山活動や有毒ガスの危険があるため、火口への立ち入りは禁止されています。この火口は、何千年にもわたって繰り返された噴火によって形成されました。1900 年に起こった最も最近の噴火では、硫黄精製所が破壊され、山で働いていた 72 人の鉱山労働者が死亡しました。

最も近くで火口が見える場所は、安達太良山山頂から「牛の背」と呼ばれる広い尾根を北に歩いて 15 分ほどのところにあります。途中で徐々に火口の内部が見えてきます。山腹をえぐったような、岩がむき出しになった荒涼としたこの風景には、ほとんど草木が見られません。

火口全体を周回するトレイルがありますが、全長 7.4 キロメートルの全周を完了するには 3～4 時間かかります。大抵の訪問者は来た道に戻っていきますが、鉄山の頂上まで迂回して戻ってくることも可能です。鉄山の迂回路を通るには、「馬の背」と呼ばれる、南の「牛の背」よりも若干狭く、火口の東端に続く尾根に沿って北にさらに 30 分歩きます。